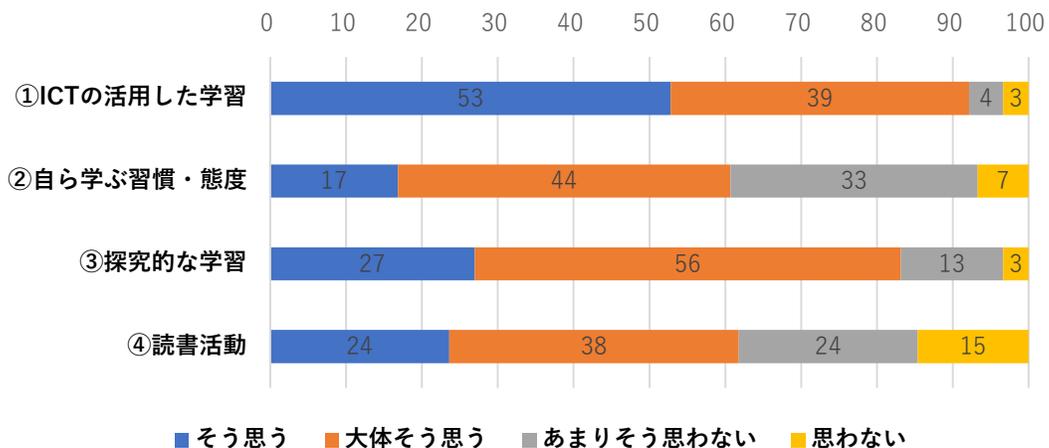
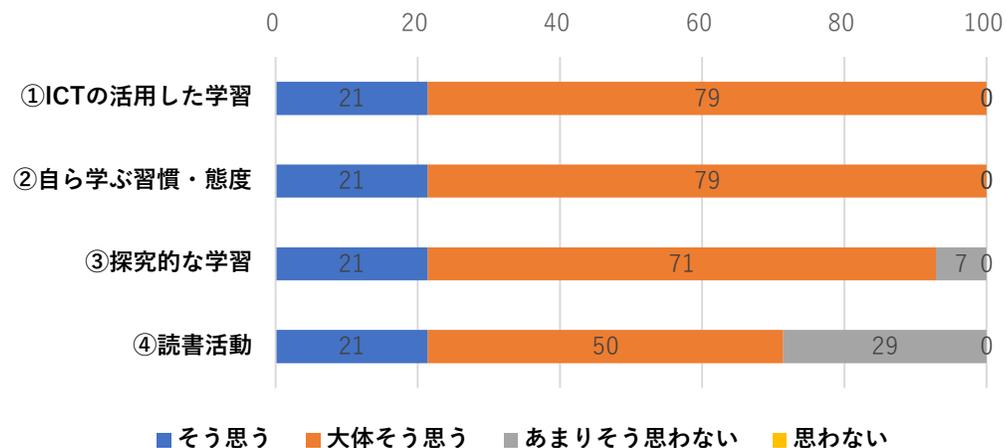


# 1 学力向上

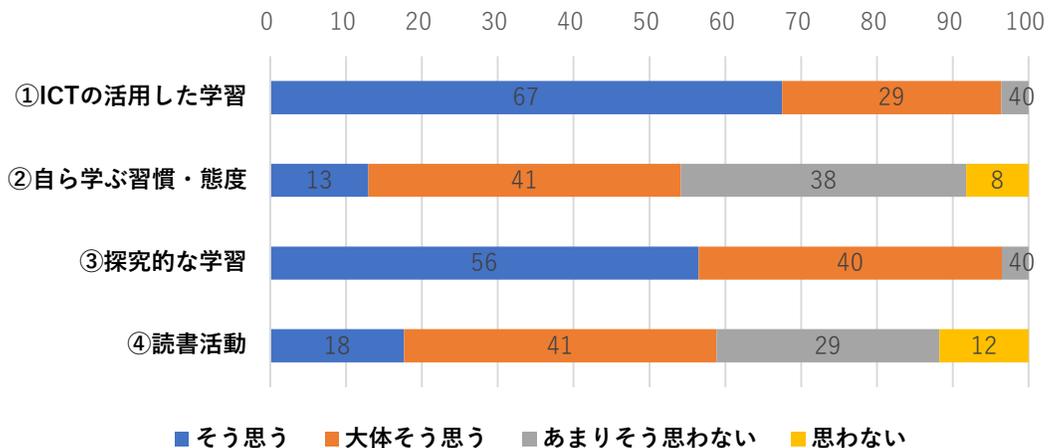
## 1 学力向上（児童）



## 1 学力向上（教職員）



## 1 学力向上（保護者）



① ICTを活用するよさを大多数が認識している。一方、学力向上と結びつけられない児童も一部にいる。

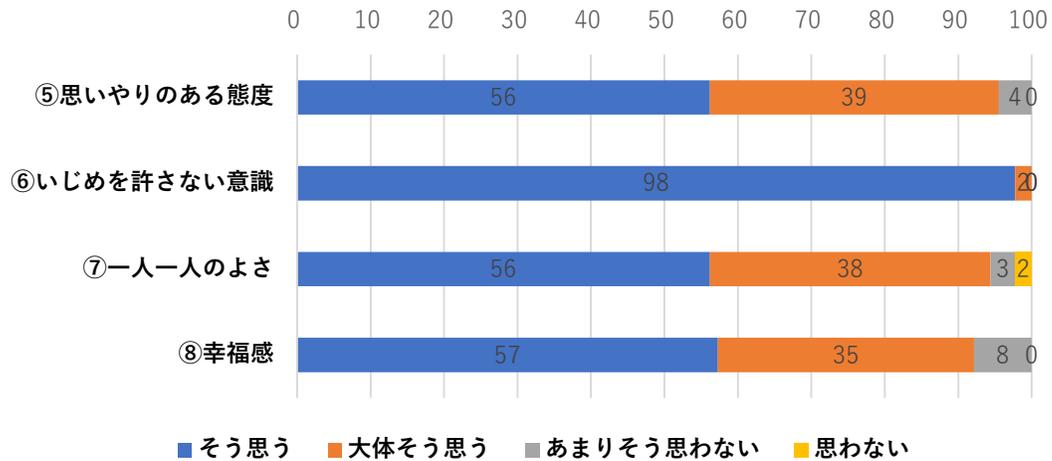
② 自学の習慣について、約半数の児童・保護者が身に付いていないと感じている。

③ 探究的な学習について、保護者の評価は高い。一方、苦手だと感じている児童も一定数いる。

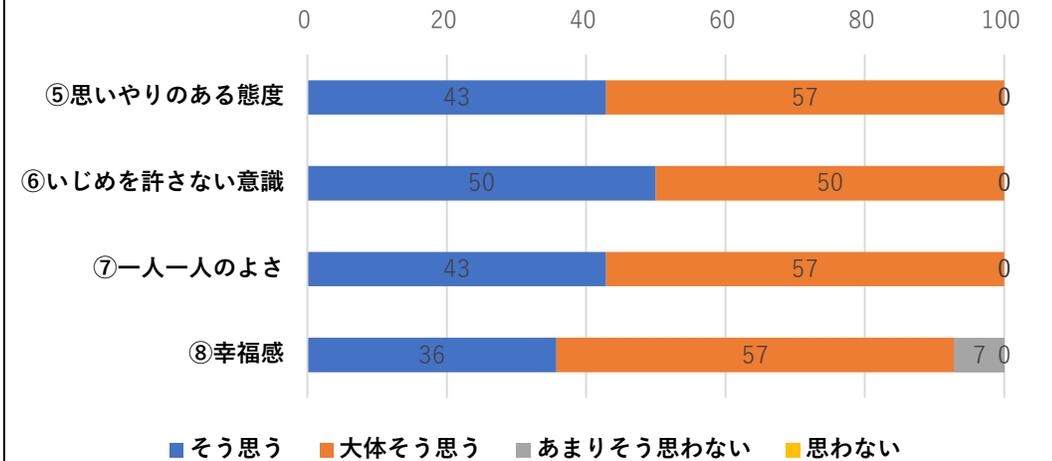
④ 読書活動について、40%ほどの児童が未定着。また、そのことを保護者・教職員も十分に認識している。

# 2 道徳・人権教育

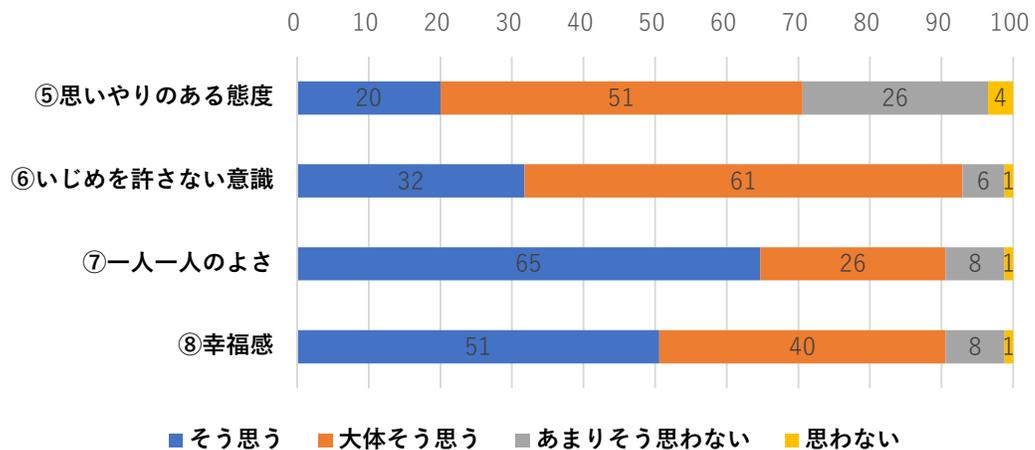
## 2 道徳・人権教育（児童）



## 2 道徳・人権教育（教職員）



## 2 道徳・人権教育（保護者）



⑤ 思いやりのある行動を進んで行う児童が多数である。ただ、人権について話をすることが少ない家庭もある。

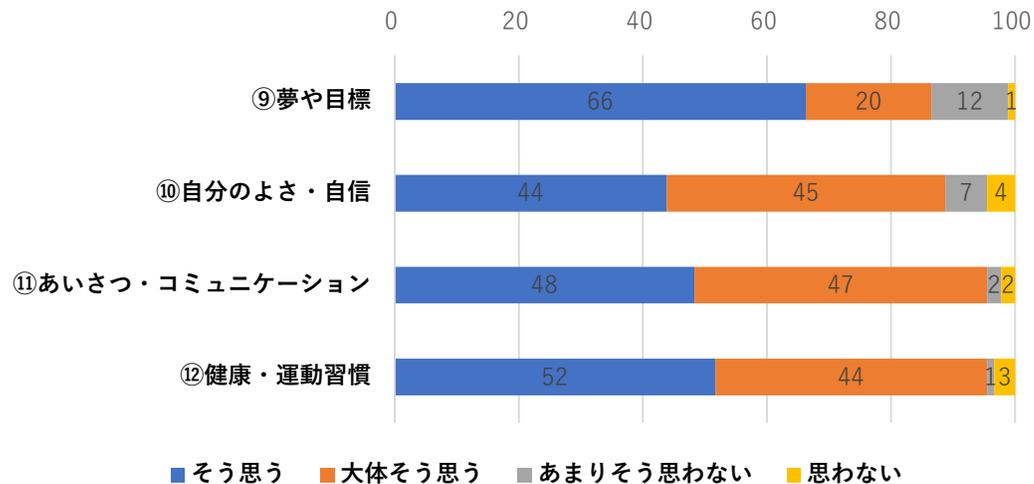
⑥ 児童にいじめを許さない意識は十分身に付いている一方、学校の取組が不十分であると感じている保護者もいる。

⑦ 一人一人のよさを認めようとする教育は評価している一方、学校の認識が不十分であると感じている保護者もいる。

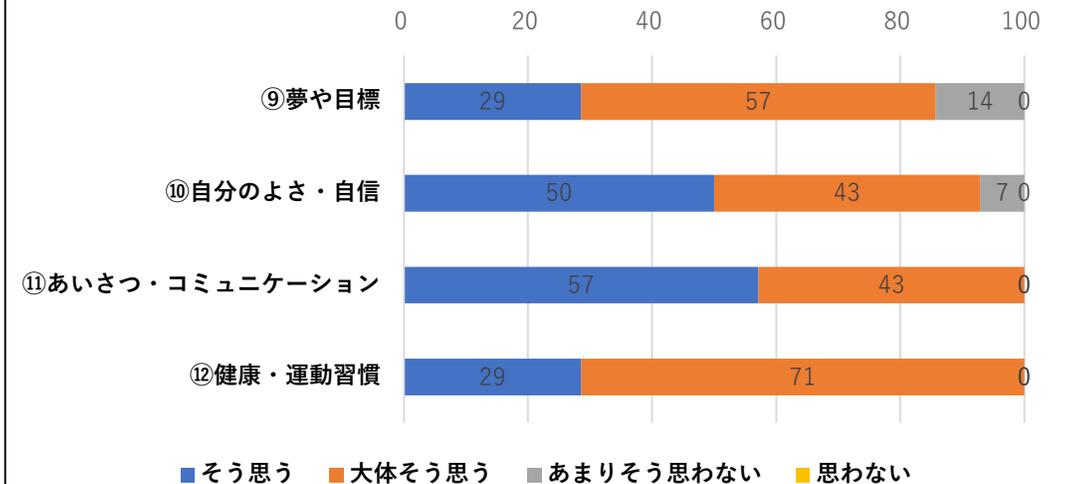
⑧ 90%以上が幸福感をそれなりに感じているようだ。

# 3 個性の尊重・生活習慣の育成

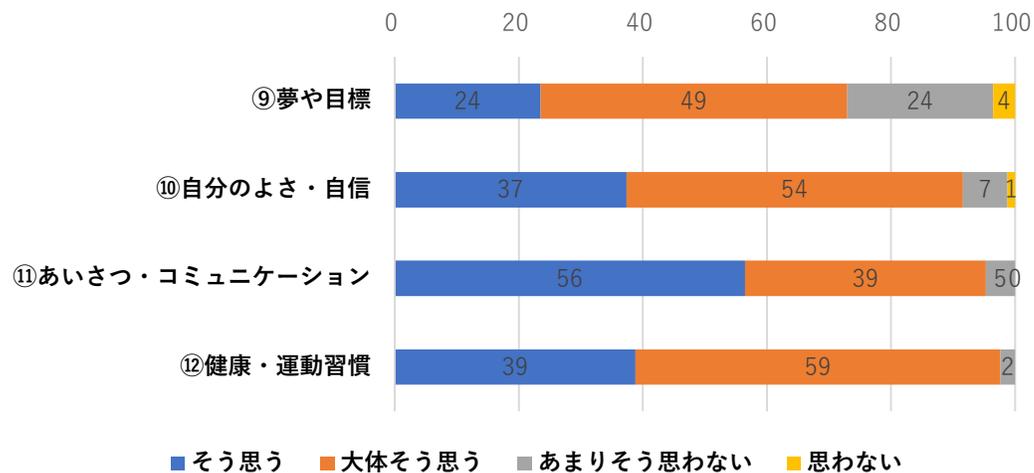
## 3 個性の尊重・生活習慣の育成（児童）



## 3 個性の尊重・生活習慣の育成（教職員）



## 3 個性の尊重・生活習慣の育成（保護者）



⑨ 児童は夢や希望をもっている。一方、それを保護者・教職員が十分に受け止め認識しているとは言えない。

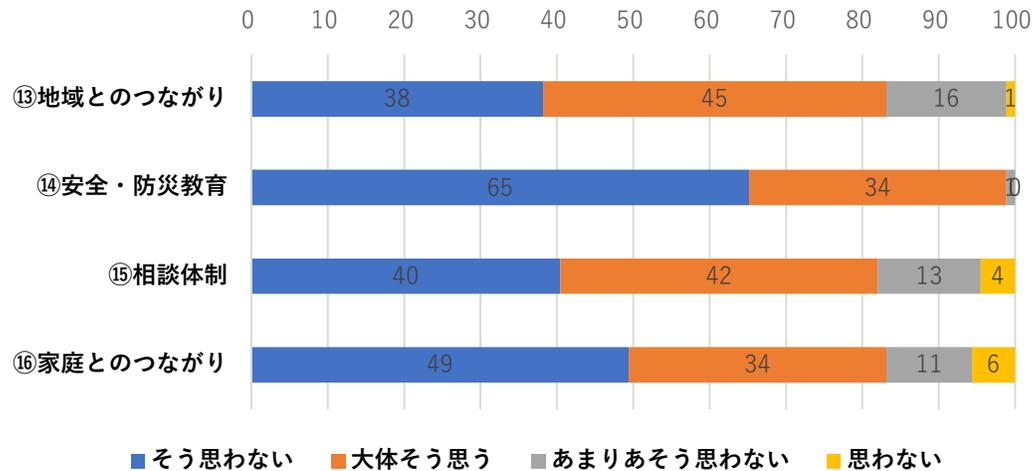
⑩ 個々のよさを伸ばし自信をもっている児童は大多数であるが、自己有用感が低い児童も10%ほどいる。

⑪ あいさつを自分から進んで行い、自分と関わる人たちとコミュニケーションをとろうとする児童が多い。

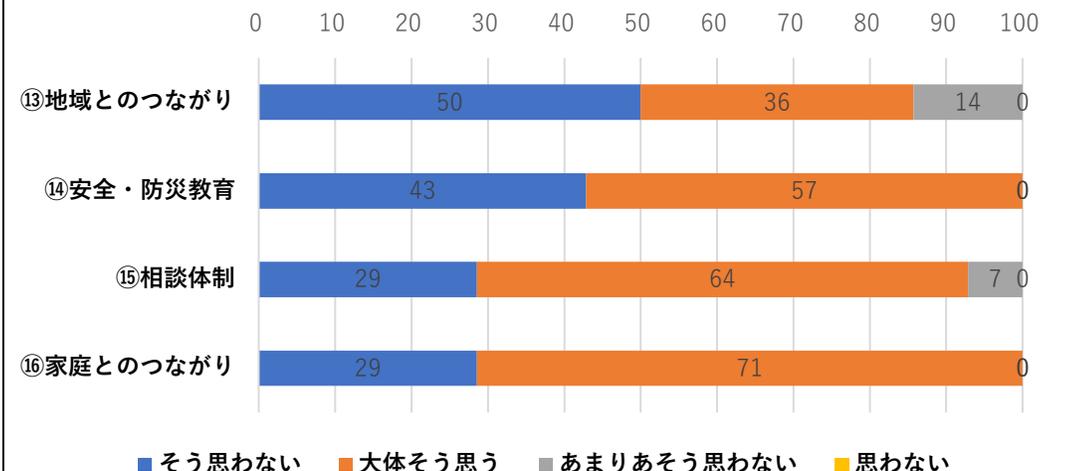
⑫ 全体的に健康な生活と運動習慣を意識して生活してる。一方、不十分だと感じている児童が一部にいる。

# 4 地域・家庭・学校の連携

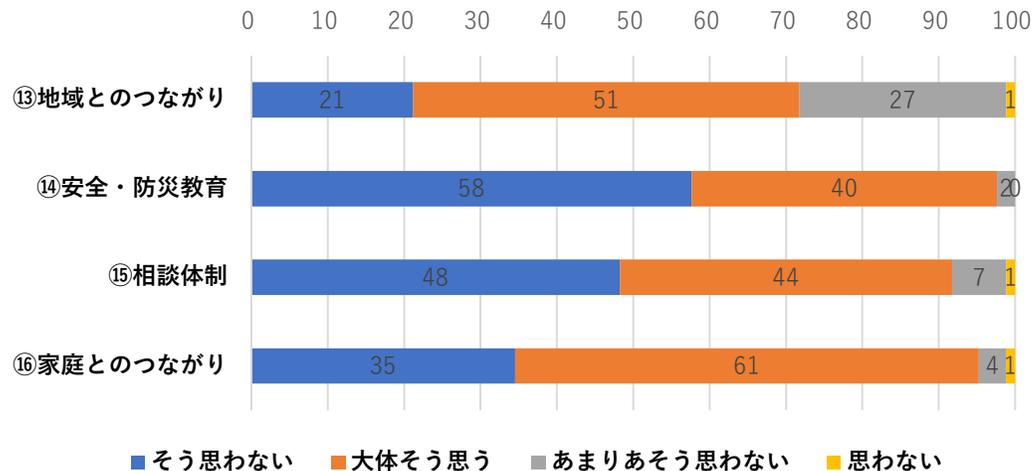
## 4 地域・家庭・学校の連携（児童）



## 4 地域・家庭・学校の連携（教職員）



## 4 地域・家庭・学校の連携（保護者）



⑬ 地域とのつながりが不十分であると認識している児童・保護者が一定数いる。

⑭ 全体的に特に児童の安全・防災教育への意識は高く、「命を守る行動ができる」と70%が答えている。

⑮ 教職員に相談しづらいと感じている児童が約20%おり、教職員と保護者も10%がそう感じている。

⑯ 家族と家庭で会話していないとする児童が約20%いる。学校から家庭への情報が伝わりにくいと感じている保護者もいる。

# 令和8年度に向けて

## 1 学力向上

### (1) 「自分で勉強する習慣」を支援する

「家での学習習慣」に見通しをもたせる。宿題だけでなく、自分で興味を持ったことを調べる「自主学習」のやり方を、学校で指導する。

### (2) 「本を読む楽しさ」を伝える

朝の読書時間など、読書の時間を保障する。図書室・学級文庫の環境を整え、子どもたちが「読んでみたい」と思える本に出会える機会を増やす。

### (3) 家庭との連携を充実させる

## 2 道徳・人権教育

### (1) 一人一人に寄り添った支援のあり方を検討する

児童一人一人に寄り添い、個に応じた支援をいっそう高める。学校の具体的な取組をもっと保護者に伝える。

### (2) 家庭での対話のきっかけ作りを行う

人権について話す機会が少ない家庭もあるため、学校での学びを家庭でも話題にできるように、情報発信を工夫する。

### 3 個性の尊重・生活習慣の育成

#### (1) 子どもの「夢」を応援する場面を増やす

子どもが持っている夢や目標を、教職員や保護者がもっと共有し理解を深め、それらを認める場面を増やす。

#### (2) 自己肯定感を高める

一人ひとりの「よさ」を再発見し、他者と比べることなく個人として尊重する教育を通じて、自信を持って生活できるよう支援する。

## 4 地域・家庭・学校の連携

### (1) 相談しやすい雰囲気づくり

先生に相談しづらいと感じている子がいることを認識し、子どものサインを見逃さず、誰にでも安心して話せる体制を整える。

### (2) 家庭への情報伝達の工夫

学校からの情報が届きにくいと感じる保護者もいるため、伝え方を工夫し、確実に届くようにする。

**☆家庭との連携のあり方について工夫をしてまいります。  
来年度も、ご理解とご協力、よろしく申し上げます。**